

いかわ

NO. 126
平成28年4月15日
発行：秋田県井川町議会

町議会だより

平成27年度井川町立井川小学校卒業証書授与式



旅立ちの春 (3月15日 井川小学校)

第1回定例会・第1回・第2回臨時会 … 2～3

平成27年度補正予算・議会常任委員会 … 4～5

予算特別委員会（予算審議） …… 6～7

予算特別委員会（総括質疑） …… 8～9

一般質問（5氏） ……………… 10～14

条例制定・改正・表彰・陳情 …… 15

私のひとこと・議会のうごき …… 16

3月議会

(会期・3月3日～11日)



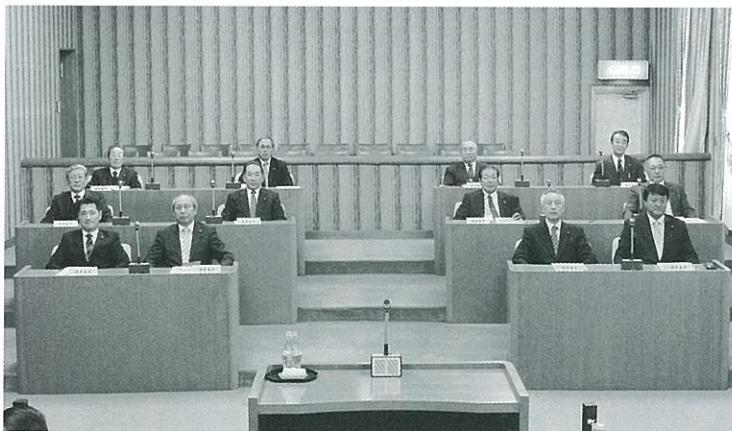
町民の期待に応えるよう 全力で頑張ります!!



副議長
工藤久兵衛



議長
藤田俊悦



議会人事構成

◎委員長（議長） ●副委員長 ○委員（議員）

議席番号	氏名	常任委員会		議会運営委員会	議会だより編集委員会	湖東地区行政一部組合	八郎潟・井川衛生処理施設組合	八郎潟周辺清掃事務組合	井川・潟上共有財産管理組合任期H26.9.1～H30.8.31
		総務産業	教育民生						
1	湊文博	●		●	○		○		
2	石井茂	○							○
3	渡部豪士		○		○		○		
4	浅野義幸		○						○
5	遠藤政勝	○			○	○			
6	伊藤俊郎		●	○	○	○			
7	草階廣治	○		○			○		○
8	伊藤譲	○			○			○	
9	白川雅孝	○		○					
10	松田弘咲	○			●			○	
11	工藤久兵衛		○	○		○			○
12	藤田俊悦	○			○				○

第1回 臨時会 2/3

人事構成決まる

議会改選後初の臨時会が去る2月3日開催された。正副議長を選出。次に常任委員会、議会運営委員会など各委員会の人事構成と選舉管理委員会委員及び補充員の選任、ならびに一部事務組合など組合議員の選任が行なわれ、それぞれ異議なく決定した。

次に秋田県後期高齢者医療広域連合会議会議員に齊藤多聞氏の選任、議会選出の監査委員に白川雅孝氏の選任、湖東地区行政一部事務組合議員に遠間富和氏の選任を全員一致同意して閉会した。

選舉管理委員会委員補充員

二田一朗(大台) 石井久男(宇治木)
三浦美智男(小竹花) 藤田陽子(街道)

森田和文(小今戸) 小林田美彦(荒田)
安田幸子(寺沢) 細川英子(街道)

第2回 臨時会 2/24

5議案を可決

◎一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正する条例について

秋田県人事委員会の勧告に準拠し、給料表の改正及び諸手当の改正を行なうため関係条例の関係部分を改正。

◎平成27年度一般会計補正予算について

補正内容▼500万円を追加し累計31億2千150万円とする。

◆主な補正

【歳入】地方交付税 478万7千円追加

【歳出】人件費 2千286万2千円減額

国民健康保険事業特別会計繰出金

介護サービス事業特別会計繰出金

安心子育て支援基金積立金 565万1千円減額

2千900万円追加

補正内容▼445万1千円を減額し累計

1億8千374万9千円とする。

全員可決

◎平成27年度国民健康保険事業特別会計補正予算について

補正内容▼1千777万円を減額し累計

9千983万円とする。

全員可決

◎平成27年度介護サービス事業特別会計補正予算について

補正内容▼1千777万円を追加し累計2億

9千120万円とする。

全員可決

◎平成27年度国民健康保険診療所特別会計補正予算について

補正内容▼430万円を追加し累計2億

9千120万円とする。

全員可決

28年度 一般会計当初予算

29億7,000万円

(前年度比 9.4%増)

平成28年度一般会計・各特別会計当初予算、条例の制定1件・条例の一部改正8件、平成27年度一般会計補正、各特別会計補正予算、人事同意3件など36件を審議し、全て原案どおり可決した。
(陳情4件はP15参照)

第一回 定例会

3月3日～11日

◆平成28年度 各会計当初予算額 (単位:千円)

会計名	予算額	対前年増減比%	
一般会計	2,970,000	9.4	
国民健康保険事業特別会計	667,800	△0.1	
国民健康保険井川町診療所特別会計	159,000	41.3	
介護保険事業特別会計	816,000	6.0	
介護認定事業特別会計	31,200	1.3	
介護サービス事業特別会計	303,400	5.8	
後期高齢者医療特別会計	45,100	2.5	
下水道事業特別会計	218,000	2.1	
計	5,210,500	7.7	
(企業会計) 水道事業会計	収益的収入	129,833	0.7
	収益的支出	104,536	2.7
	資本的収入	3	0.0
	資本的支出	60,410	△5.8

● 義務教育施設整備事業 2億6千716万6千円	● 健康センター改修事業 1千380万円
● 防災・安全事業 1億3千537万円	● 消防ポンプ積載車購入
● 新屋敷湖東線舗装補修工事(新屋敷湖今戸戸字事310m)	● 巡回バス購入事業 1千96万3千円
● 大野地金山線舗装補修工事(大野地金山今戸戸字事6336m)	● こどもセンター暖房器 867万9千円
● (洲崎橋橋梁補修工事) 老人福祉センター改修 事業 1千550万3千円	● 改修事業 345万8千円
● 辺地道路整備事業 1千620万円	● 日本国花苑整備事業 347万6千円
農業委員会委員	
● 伊藤與四春氏 井川町今戸寺内148番地	● 遠藤喜代美氏 井川町今戸小今戸6番地
● 遠間文夫氏 井川町浜井川字洲崎148番地1	● 遠藤民雄氏 井川町今戸小今戸18番地
● 白川喜久彌氏 井川町浜井川字家ノ東6番地	● 工藤久兵衛氏 井川町大麦字諏訪前7番地
(農業委員会等に関する法律の改正により、町長が任命することに)	
固定資産評価査定委員会委員	
● 工藤貞彦氏 井川町浜井川字ヒル子100番地	● 工藤秀行氏 井川町大麦字井戸尻24番地
● 工藤坦順子氏 井川町浜井川字板垣順子氏	● 工藤深間44番地 井川町八田大倉字井戸尻24番地

歳入・歳出 1億7,300万円を追加

予算総額 32億9,450万円とする

繰越明許費の設定

- 地方創生事業 39,700千円
- 情報セキュリティ強化対策事業 21,287千円
- 中学校建設事業（測量設計業務） 8,036千円

債務負担行為の設定

- 中小企業融資斡旋資金保証料補助金
平成28年度～37年度 842千円

地方債の追加

- 情報セキュリティ強化対策事業 6,200千円

地方債の変更

- ひとり親家庭等住宅整備資金貸付事業 1,500千円→皆減
 - 緊急防災・減災事業 10,800千円→ 10,200千円
- 計 359,200千円→363,300千円

◆歳出の主な内容

(単位：千円)

事業名	額
各事業賃金等の減額	△ 15,426
「井川町」発信事業・地方創生加速化交付金事業	39,700
町村電算システム共同事業組合負担金	△ 1,521
記念行事費	△ 2,118
井川町議会議員一般選挙費	△ 2,587
町農業委員会委員一般選挙費	△ 1,130
老人保護措置費負担金	△ 1,400
ひとり親家庭等住宅整備資金貸付金	△ 1,500
湖東厚生病院運営費補助金	27,252
井川町診療所特別会計繰出金	21,176
強い農業づくり補助金	△ 2,268
農業体质強化基盤整備事業補助金	△ 16,920
中山間地域等担い手収益力向上支援事業費補助金	1,230
機構集積協力金交付事業費補助金	△ 1,488
下水道事業特別会計繰出金	△ 3,035
道路舗装工事（穴埋め）	1,000
湖東地区行政一部事務組合負担金（消防）	△ 2,182
井川っ子教育推進基金積立金	149,800
中学校建設費（測量設計業務）	△ 7,780
償還利子	△ 6,360



完成した国花苑休憩所

◎ 27年度井川町下水道事業特別会計繰入額	一般会計からの繰入額は、303万5千円を減額し、9千858万7千円以内とする。
◎ 27年度井川町一般会計補正予算	1億7千300万円を追加し、32億9千450万円とする。
◎ 27年度国民健康保険井川町診療所特別会計補正予算	1億7千300万円を追加し、32億9千450万円とする。
◎ 27年度井川町介護サービス事業特別会計補正予算	額し、2億1千756万9千円とする。
◎ 27年度井川町介護サービス事業特別会計補正予算	額し、2億1千756万9千円とする。
◎ 27年度井川町下水道事業特別会計補正予算	230万円を追加し、2億9千350万円とする。

こんなことを審議しました

委員会審査

質疑応答の
主なものを掲載



総務産業常任委員会

総務産業

問 井川町職員の退職

管理に関する条例の制定について、国の法律の改正に則つて改正したと思うが、前からこういったものはなかつたか。

答 職業選択の自由はあつても、町の情報漏洩に

繋がるようなことがあつてはならないため。またあらかじめセーフティーネットを張る意味もあり今回の制定とした。

問 職員の定年等に関する条例の一部改正とは一般職員も含めるのか。

答 今回井川町の診療所に来てもらう医師のためのもので、井川町職員として医師を確保する際に

定年後の人を雇うことはできないため今回定年退職の年齢を改正するもので、その後定年を延ばすこともあります。

教育民生

問 小、中学校の学校運営支援員の更なる募集を。

答 広報を通じて町内に募集をしており、また個別にも働きかけるなど努力はしているが、学校運営支援員という名前で堅いイメージをもつていて

敷居が高いのか、応募者がいない状態です。引き続き小学校1人、中学校1人の支援員を募集している。

問 インフルエンザ予防接種委託の減額内容は。

答 主な減額は肺炎球菌委託である。他市町村は65歳以上を5歳ごとに通

知、助成を行っているの

に対し、井川町では65歳以上で5年以内の未接種者全員を対象者として試算したが、接種者が少なかつた。重症にならないよう予防接種の周知徹底をしていく。

問 人工透析者の人数と助成対象者は何人か。

答 また臨時福祉給付金28年度の対象者は何人か。

答 人工透析者12名、う

る。

ち助成対象者は7名、助成対象とならない人は、医療機関の送迎車を利用している人である。28年度の臨時福祉給付金は1人3000円で対象者は1050人。その他低所得の年金生活者は1人3万円で670人。障害年金遺族年金受給者は1人3万円で70人見込んでいます。



教育民生常任委員会

予算審議

予算特別委員会（委員長・草階廣治）を設置し、4日間にわたり審査した。

必要最小限の事務を

問 県事務委譲交付金で何が出来るのか。その交付金の額で、仕事量が

増えて大丈夫なのか。

課長 移譲事務は25種類あり、県内の他市町村より移譲率が低いのは、担当を決めたり、職員研修を行ったりしなければならず、金額も微々たるものなので断つている。

場所は今後検討する。記録媒体はSDカードで1週間～2週間記録でき自動で上書きされていき、本体から取り外して確認、提出可能です。

町民課

予算特別委員会（委員長・草階廣治）を設置し、4日間にわたり審査した。

総務課

町のPRを

問 あきたふるさと手

作りCM制作委託10万円とあるが、この費用対効果は。また10万円で足りるのか。

課長 費用対効果をどう出すか難しいが、若い世代が町をどう売り込むかを協議する場となつてるので、話し合えることが大事だと考える。

また金額は上げれば知名度が上がるかは計り兼ねる。

る。

安全安心のため 防犯カメラ

問 防犯カメラ設置と

あるが、設置場所が重要だと思う。施設のどこに

設置するのか、また映像の検証などはどういうに

行うのか。

課長 公共施設の安全安心利用のため防犯カメラの設置を予定している。

設置場所は、駅2カ所、

中学校1カ所、こどもセ

ンター1カ所、国花苑1

カ所ですが具体的な設置

く。

課長 移譲事務は25種類あり、県内の他市町村より移譲率が低いのは、担当を決めたり、職員研修を行ったりしなければならず、金額も微々たるものなので断つている。

し尿処理対策は

問 八郎潟町、井川町

衛生処理施設組合負担金について、負担金は何に使われているのか。また

し尿の処理などは利用者が減っていると思うが、

今後も負担を続けていくのか。

ドック利用で 健康に

問 出産育児一時金の支払い状況は。

また脳ドック・人間ドックの定員に対する申込状況は。

中10名実施である。例年

国保分については数名ほどどの空きが発生している。

診療所関係

問 医師給料、医師手当、医師報酬、診療委託

費の違いについて詳しく説明してほしい。

課長 メディカルは国保分については

医師の基本給、医師手当は常勤医師の手当、医師

報酬は検査医師等の派遣



井川町診療所

総額 52億1,050万円
(水道会計を除く)

前年比 3億7,100万円増

新年度予算

町民生活に

医師に対して支払う費用。
診療委託費は常勤医が来るまで引き続き杉山病院の医師費用。

を聞いています。

集まりごとに
積極参加を

林道整備

産業課

教育委員会

しているが中山間地など
散歩が難儀な場所等を考
慮し航空防除協議会で検
討していく。

上され、今年も計上され
ているが年次計画な
か。またこの後も計上す
るのか。

事務局長 昨年電子黒
板を1台購入した。3カ
年3台の年次計画である
が、今年度2台分を計上
した。昨年購入したのは
主に6年生用で、今回購
入するのは、4・5年生
用となつていて。ただ4
・6年生のみが使用する
のではなく、デジタル教
科書が計上されるので、
電子黒板での授業が可
能となる。

科書に関しては1年生か
ら国語と算数は利用する。
主に高学年が使用するが、
教科によっては1年生か
らデジタル教科書を用い
た電子黒板での授業が可
能となる。

「はづらつ歩こう会」
今年が最後か?

問 公民館活動は社会

教育も含め重要なと思う
が、行事に追われて大変
なのではないか。職員が
不足だと思われるが、教
育長の考えは。

教育長 社会教育及び

学校対応等、教育委員会
全体が職員不足である。
行事の見直しという意見
もあり、「はづらつ歩こう
会」を25回をもつてやめ
たいと考えている。朝早
い時間、長い距離をスタ
ッフが難儀している割に、
町民の参加率が低く疑問
の声もあった。社会教育
は人がいて成り立つので、
もっと人員がほしいと思
つていい。

問 林道「施田黒坪線」
は、どこからの要望か、
また総事業費は。

問 教材のデジタル化
備品費に昨年も電子黒
板、デジタル教科書が計
上された。昨年購入したのは
主に6年生用で、今回購
入するのは、4・5年生
用となつていて。ただ4
・6年生のみが使用する
のではなく、デジタル教
科書が計上されるので、
電子黒板での授業が可
能となる。

航空防除関係



電子黒板

問 昨年のコメの等級
が下がりました。原因は

カメムシです。航空防
除を2回実施できないか。
現年1回は有人

状況である。28年度から
は積極的に訪問して実施
する予定です。普段着ふ
れあいサロンは町内12カ
所で実施しており、引き
こもりの人が外出するき
つかけになつたというう話

問 現在1回は有人
ヘリ等で防除、2回目以
降は個人での防除対応と

科書に関しては1年生か
ら国語と算数は利用する。
主に高学年が使用するが、
教科によっては1年生か
らデジタル教科書を用い
た電子黒板での授業が可
能となる。

質

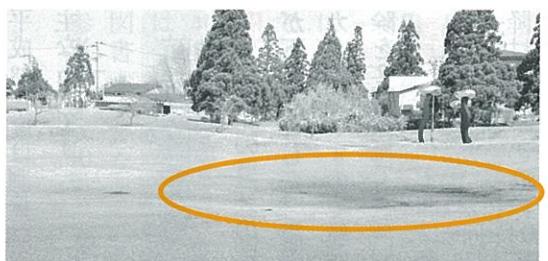
疑

伊藤俊郎 国花苑の芝生の地盤沈下は昨年よりも進んでいる。沈下状況の数値把握しているのか。対応工法の検討、工事計画はあるのか。

町長 対策工法は、掛けかりな施工となり、短期的には困難であり、現時点で明確な改良工事計画は無い。

副町長 当該地は腐葉土層が厚く、平成元年造成時、砂防シート張りの上に砂盛りする工法としたが、腐葉土中の水分に砂が吸い込まれ盛土部分が段々低くなっていく状態である。臨時の芝生を養生しながら平行して砂を入れていくしか方法がない。ちびっこ広場も腐葉土層だが、少し状況（層の厚さ）が良好だったようだ。テニスコート域も地盤が悪かつたが、テニスコート均平を欲求されることから、造成時杭打対応した。

遠藤政勝 町内会への助成予算額はここずっと同額で推移している。町内負担者減が続いている



国花苑芝生広場の沈下

いる。尚、報酬増で団員が集まるとは考えられない。企業への団員確保働き掛けをこれからも続けていく。

遠藤政勝

中山間地での米作で、カメムシ被害が多発していることか

ら、空散防除時、これまで除外されていた畦畔部

分へも薬剤散布することにより、より完全に防除が実施され、被害軽減が

図れるはずである。町で負担してはどうか。

町長 現行空散防除は年1回、他は個人対応防除となっている。有人ヘリ一斉防除は、ヘリ運航

者不足から現状維持も厳しく、更なる対応は難しい状況にある。

町長 町内各々で、助成金用途が異なるのではないか。と考えており、これらを検討した上で町内会長会議で話し合いながら進めたいきたい。

遠藤政勝 消防団員の確保等として、女性団員及び、報酬増額検討すべきではないか。

町長 女性の活躍、機能を検討すべきと考えて

町独自基金各々の概要及び、今後の基金への取組み方針は。

遠藤政勝 地域雇用推進基金、ふるさと創生基金、中山間基金、中小企業振興基金などが国の条件付

基金であり、町独自としては、教育基金、安心子育て支援基金などである。

他に、財政調整基金、減債基金及び、国保財政基

金、介護給付基金等である。基金をどこまでも積上げる考えはない。起債の償還を見ながら、バランスを保ちつつ取り組んでいく。

遠藤政勝 本町職員給与水準（ラスパイレス指

数）が25市町村中下から2番で低く89%となつて

いる。全国平均が95%、秋田県では92・3%。東成瀬村、藤里町、小坂町においては92～95%となつていて。本町の現状をどう見るか。

副町長 国を100とすれば、現在はそれを下回る指数でもよいとの国指導が変わってきた。以前は国を上回る自治体

が相当数あり、これは正策が取られてきた。尚、職員年令構成比の違いによる指數変動もあり、一概に低いとも断定出来ないと考える。

町独自基金各々の概要及び、今後の基金への取組み方針は。

遠藤政勝 低くとも良いとは、どういうことか。

副町長 国の指導が、高い自治体のは正に変わってきただけとは申していいだけとは申して

くてよいだけとは申していい。

遠藤政勝 職員数が足らず、労務加重から全体として疲れが見える。新規、再任用等で職員増を図るべきではないか。また、兼務でない総務課長の職員配置をすべきでは。

町長 職員数は充足していないと認識している。4月には4人の新人を採用することとしている。単純に増すことでもなく、年令のバラツキも考慮していくこととなる。

今は過度期ととらえ、少し時間を必要としている。兼務でない総務課長配置については、いつもでと明言出来ない。

遠藤政勝 県の経常収支比率ではないのかと考えられる。このため施策実行は我慢の上で得た結果ではないのか。国の条件付基金、

括

総

伊藤俊郎 財政弾力性
を表わす経常収支比率の
値は、本年何%か。また、
基準値は。

町長 決算ベースで算定しており、本年はまだ明言出来ない。前年は76・2%であり、基準値75%に比べ少し高いが、他自治体に比較すれば良好かなと考えている。

湊 文博 教育施設の駐車場が不足している。

今後中学校の給食センター増設で更に狭くなる

し、子育て交流館建設も控えている。こどもセンター行事時は路上駐車を黙認している状態でもある。事故防止の観点から、充分な駐車スペース確保をすべきでは。

町長 路上駐車の黙認を云われれば少し厳しい処であるが、臨時の行事開催時も全て確保することは現実的でない。関係者の協力をもいただき少し距離があるが、役場、町民体育館、中学校裏側等の駐車場活用をお願いしたい。

湊 文博 教育施設の駐車場が不足している。

今後中学校の給食センター増設で更に狭くなる

し、子育て交流館建設も控えている。こどもセンターハ行事時は路上駐車を黙認している状態でもある。事故防止の観点から、充分な駐車スペース確保をすべきでは。

町長 路上駐車の黙認を云われれば少し厳しい処であるが、臨時の行事開催時も全て確保することは現実的でない。関係者の協力をもいただき少し距離があるが、役場、町民体育館、中学校裏側等の駐車場活用をお願いしたい。

湊 文博 教育施設の駐車場が不足している。

今後中学校の給食センター増設で更に狭くなる

し、子育て交流館建設も控えている。こどもセンターハ行事時は路上駐車を黙認している状態でもある。事故防止の観点から、充分な駐車スペース確保をすべきでは。

町長

本年は県との共同事業

防災訓練を予定している
が、町独自の、それも消防団員が集まり難い平時を想定した訓練が必要ではないのか。

町長

本年は県との共同事業

防災訓練を予定している
が、町独自の、それも消防団員が集まり難い平時を想定した訓練が必要ではないのか。

いかわ町議会
だより

石井 茂 県との合同防災訓練を予定している

機児童はいない。本町は、施設・運営費補助等の要請課題があり、全国の施設不足・保育士確保難とは問題が全く異なる。

町長

本町では、待

教育長

No.126

石井 茂 議会事務局員1人体制は県内見ても皆無であろう。本町一人体制をどう考えているか。

町長 1人体制は厳しい。議会事務局の役割、員数の必要度等、町長部

署とは区分けし、議員の活動要望を受けて検討していくべきだ。

教育長

9

伊藤 謙 保育待機児童問題が、保育園落ちた等全国版で大きく提起されているが本町の状況はどうか。

湊 文博 子育て交流館建設は、県との共同事業で降つて湧いた感がある。新規箱物ではなく、現在の小学校クラス減による、空教室利用は出来ないのか。

教育長

石井 茂 教科書問題が発生しているが本町は。

9



さくらまつりの賑わい

石井 茂 本年介護報酬が下げられたが、本町で

伊藤 謙 下水道管の硫化水素での腐蝕が進むが本町ではどうか。

副町長

9

伊藤 謙 行政職員数は充足。教職員数は少し足りない。

町長 小中一貫校の体制はどうか。

伊藤 謙 小中一貫校をめざしているが、義務教育学校としての職員数

9

伊藤 謙 まつり時、駐車場への誘導がスマートにならず、渋滞が発生した。本年有

湊 文博 昨年さくらまつり時、駐車場への誘導がスマートにならず、渋滞が発生した。本年有

資格者確保予算も措置されていない。

9

伊藤 謙 となれば、0才児全員入園が進み、現体制では難しくなると見ていく。

伊藤 謙 空クラス教室はそれなりに利活用しており、これへの振向けは出来ない状態もある。尚、今後小学校廃校後の施設利用方法としても考えている。

伊藤 謙 まつり時、駐車場への誘導がスマートにならず、渋滞が発生した。本年有

9

同での実施を予定。町独自の訓練は団員の負担増を避ける方

法、災害発生へ

のシミュレーションの組み方等々を実施検討していきたい。

9

一般質問

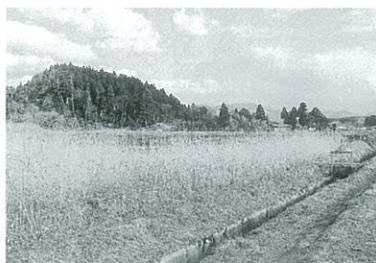
図書カードの支給について 支給は継続する



伊藤

議員

問　昨年夏、小中学生に図書カードが支給されたが、今年は昨年とは異なり、基金から予算化されないが、読書教育であるならば事業の目的を明確にし予算化するべきである図書カードを支給するのは好ましくないのではないか。また、小中学生一律5千円は高額だと思うが金額設定の根拠はあるのか。



作付されない耕地

問　総合戦略に、地域経済活性化には、高循環サイクルを作る事が必要という記述があるが、方針論が示されていない。

産業が乏しい井川町にとって循環率向上はハードルが高いと思うが、どのように理解して頂きたい。

問　産業所得向上政策の実行度合いはどの程度か。専門の職員の配置は考えていない。

町長　金額の明確な根拠はないが、読書教育推進の一環で、学力向上が課題となっているため、年間を通じた書籍代と言う事であり、それぐらい読書教育に本気だと言う表れであると理解して頂きたい。

問　井川町総合戦略の事業が計画されているが、そもそも、その各事業に携わる人材が確保できるか。

町長　官民共同で進められる姿勢であり、地域住民の力も欠かせないので、全町一丸となり取り組む。資格の必要な人材確保には全力を尽くす。

町長　地域経済循環システム（リーサス）から提供されている経済産業分析で、人口規模に対する大企業が存在するため循環率が向上しないと言う分析結果である。

町長　生産コスト削減には有効な手段であるが、地域の合意が必要で、なかなか進まない現状である。現時点では、農地管理機構を通じて農地集積を進め、担い手支援と農業所得向上を一体化した

結果、90%が使用し、内40%が使い切った。内訳は複数回答だが、読書用参考書など40%、漫画など

井川町総合戦略について 総合的な町の振興・発展を図る

のような方法を考えているか。

町長　対応が必要。農業委員会の改正に伴い、農地等の利用最適化が必須業務となり、共に農地集積を考えて行きたい。

問　昨年夏、小中学生に図書カードが支給されたが、今年は昨年とは異なり、基金から予算化されないが、読書教育であるならば事業の目的を明確にし予算化するべきである図書カードを支給するのは好ましくないのではないか。また、小中学生一律5千円は高額だと思うが金額設定の根拠はあるのか。

町長　町としては実行はしていないが、中学校でアンケートをとった結果、90%が使用し、内40%が使い切った。内訳は複数回答だが、読書用参考書など40%、漫画など

問　なぜ、幼児・高校生は対象としなかったのか。学力向上が課題であり、学校を通じて配布する事に意味があり、無闇矢鱈に配るものではないと認識している。

町長　義務教育期間の学力向上が課題であり、学校を通じて配布する事に意味があり、無闇矢鱈に配るものではないと認識している。



読書感想発表の一コマ

問　図書カードの性質上、換金や書籍以外の商品の購入も可能だが、使用状況は検証したか。

町長　なぜ、幼稚・高校生は対象としなかったのか。学力向上が課題であり、学校を通じて配布する事に意味があり、無闇矢鱈に配るものではないと認識している。

町長　読書教育を推進と言う事では、組みたいが、人材確保に苦慮している現状である。図書カード配布は継続する。

問　読書教育であるならば、図書館を利用するべきではないか。





遠藤 政勝
議員

各計画と当初予算との関連は 整合性を保つ

問 井川町総合戦略計画と第4次総合振興計画の概要について、特に少子化対策と子育支援は。

町長 今後5年間、将来人口を見ながら検討していく。中学までの医療費の無料化。小中一貫校への移行を実施していく。

問 人口ビジョンでは将来

人口は2060年には3082人を目標としているが、達成するには、住まいと思わせるなどの思い切った対策が必要と考えるが。

町長 歯止めは難しい



元気な園児たち

農業振興は

中山間地は守る

問 TPP問題は国の方策だが、農村社会をどうするのか、県も町も国に問い合わせるべきと考える。中山間との活用は。

町長 耕作放棄地、中

山間の活用についての対策は今後、考えていく。

また、美味しい水、空気、土で生産する米について

は、ふるさと納税用の土

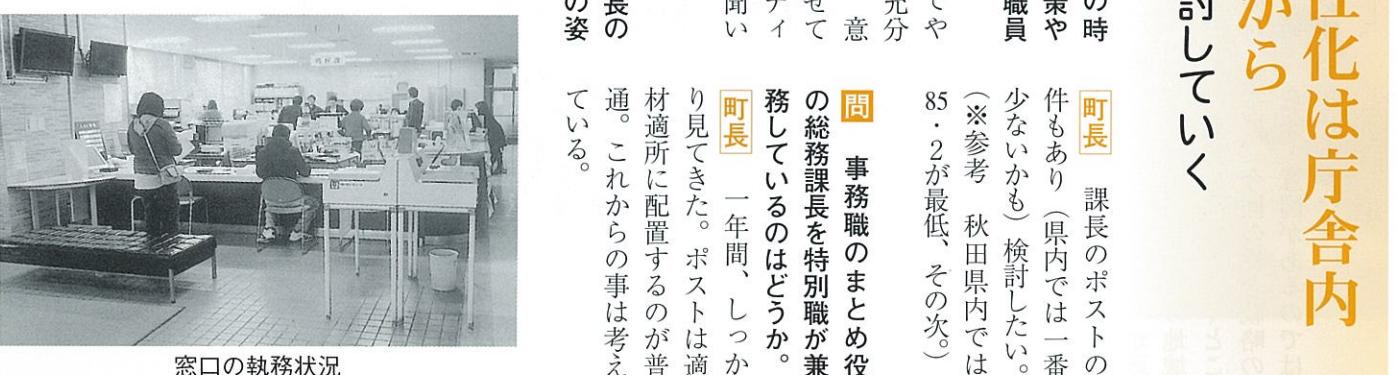
産としてやって見たい。



窓口の執務状況

問 職員のラスパイレス指數（国家公務員の給与水準を100とした場合の数値）をどうみているか。

町長 職員数が少しずくない現状なので、機構については検討する。但し28年度は無理である。



町の活性化は庁舎内(役場)から
検討していく

問 自治体も競争の時代に入つており、施策や企画に訓練が必要。職員の研修体制は充分か。

町長 少ない人数でやっている。現状では充分な時間がとれないが、意識向上等には検討させてほしい。但し、アイディアはどんどん受け、聞いていく。

町長 井川町はどんな町か、何が魅力か、PRはしていく。まずは一步から。

問 町の知名度（認知度）対策は充分か。関連「ふるさと納税」は。

町長 井川町はどうか、何が魅力か、PRはしていく。まずは一步から。

問 役場の機構は町長の事業を展開する一つの姿勢である。職員をやる気にさせる職務体制になつてあるが。

町長 職員数が少しずくない現状なので、機構については検討する。但し28年度は無理である。

問 事務職のまとめ役の総務課長を特別職が兼務しているのはどうか。

町長 一年間、しっかりと見てきた。ポストは適材適所に配置するのが普通。これから的事は考えている。

問 課長のポストの件もあり（県内では一番少ないかも）検討したい。（※参考 秋田県内では85・2が最低、その次。）

町長 課長のポストの件もあり（県内では一番少ないかも）検討したい。（※参考 秋田県内では85・2が最低、その次。）

一般質問

若い女性に希望を与えられる行政を 井川町も何らかの取組を推進する



浅野 義幸
議員

〔問〕 数年前、全国896消滅可能性都市リストが各方面で波紋を呼んだ。東京の豊島区は創生会議の試算で東京23区唯一消滅可能性都市とされた事を受け、すぐ「としまF1会議」を立ち上げた。(F1とは20~34才の女性を指すマーケティング用語)仕事・出産・育児等に関する意識の把握・分析を検討し、今後の課題を行行政側と話し、あるべき姿にどう近付けるか協議している。本町でも若い女性に希望を与える行政を目指すべきと思うが。

〔町長〕 豊島区では「ワールドカフェ方式でいろんな方に参加、話し合いをいただき、その中から課題をピックアップし、有識者を入れたF1会議を開き、女性の視点でコ



若い世代の意見発表の一コマ

ミニユーティー創生や子育て支援、町のブランディングを行政に提案し、行政が予算化した。」と確認しており、面白い事をやっていると感じた。本町も女性の視点部分を行政にもっと取り入れるべきと考える。私もしっかりと声を聞いて施策に取り入れていきたい。

県のHPでは男女共同参画社会と、新たな秋田女性活躍ネットを開設した。井川町も何らかの取組みを推進していく。

井川町創生の将来に向けた総体的な視点・力点について

地域の魅力を高めていく

〔問〕 先般、町の総合戦略並びに総合振興計画が示された。政府は「50年後も人口1億を維持」目標を閣議決定しているが、地方は「急激に人口が減る」事を前提に、住民の生活の質の維持・向上戦略が必要である。前回の、平成の大合併では湖東三町の合併は見送られたが、今後どうあるべきか含め、井川町創生のための視点・力点など総体的な考えは。

〔町長〕 今回、人口ビジョンで目指すべき姿というのを掲げた。すごく高い目標だが、高いと言つてられないでの、しっかりと総合戦略に沿つたやり方をするとして取り組んでいく決意は変わらない。総合戦略に沿つたやり方をするとしても中長期でみれば、人口が更に減った場合への対応は、しっかりと考えていく。総合戦略の検証委員会でPDCAを実施し、

〔問〕 先般、町の総合戦略並びに総合振興計画が示された。政府は「50年後も人口1億を維持」目標を閣議決定しているが、地方は「急激に人口が減る」事を前提に、住民の生活の質の維持・向上戦略が必要である。前回の、平成の大合併では湖東三町の合併は見送られたが、今後どうあるべきか含め、井川町創生のための視点・力点など総体的な考えは。

〔町長〕 今回、人口ビジョンで目指すべき姿というのを掲げた。すごく高い目標だが、高いと言つてられないでの、しっかりと総合戦略に沿つたやり方をするとして取り組んでいく決意は変わらない。総合戦略に沿つたやり方をするとしても中長期でみれば、人口が更に減った場合への対応は、しっかりと考えてい



健康維持に励む姿



湊 文 博
議員

第2子以降保育料無料について問う

本町は期限を切らず29年4月から実施する！

問 「すこやか子育て支援事業」スタートに伴い、本町の第2子以降保育料無料事業では、完全なる2人目以降無料なのか。または、何らかの条件を付けての無料なのか。そしていつ頃から実施予定なのか。

町長 県の事業として、28年度から31年度と期間は定められている。しかし、その期間内の該当者のみへの支援では意味がない。そのため、井川町でやるからには期限を切らずにやるべきであると考えている。

また第2子の定義付けをしつかりするために1年間期間をおいて、町では29年の4月から始めたく、所得制限ありなし等独自の部分については今後検討を重ねていく。

義務的経費について問う

人口減に伴い義務的経費の割合は大きくなる！

問 一般財源に占める義務的経費の割合を抑え、裁量的経費をどれだけ増やすべきかということは、健全な財政運営のうえで大切であり、町の発展にとって必要である。

義務的経費を抑えるために職員数を過度に減らしたり、公的扶助を受けるべき方の枠を厳しく制限することは断じてするべきではない。

また、今後予定している中学校増築や子育て交流館建設に伴う公債費増額



子育て交流館建設予定地（旧 幼稚園）

問 「すこやか子育て支

により義務的経費が増え、経常収支比率が上がるこ

とが予想される。

本町の経常収支比率はどれ位が適切と考えるか。

そのためにどの様な取り組みをしていくのか。

またそのような中でも、人件費・扶助費はギリギリに押さえるものではないという意見に対しても、扶助費でも人件費でも何の費用であっても不必要なものはキッチリ削るという考えに変わりはない。

町長 義務的経費の割合を示す経常収支比率70%台後半は健全な数字であると思う。しかし人口減少に伴い、歳入も厳しいことから、扶助費は増え、義務的経費の割合はどうしても大きくなる。

公債費比率に関しては、



こどもセンター卒園式

何年間かずつと右肩下がりである。今後の建設事業から不安視されるとい

うことであるが、起債方法についても、将来負担

比率等など考えて検討し

一般質問

中山間地どう守る

企業との連携も視野に



石井 茂
議員

使用するとのことだが、これらを対象にしてはどうか。

ふるさと納税の返礼品に「米」は使う。

「清流米」「源流米」の定義は、豊かな大地、水・空気がきれい・うまいなどがイメージとして湧く。参考にし検討する。

町長 中山間地を守ることは重要な問題であると言っている。

今現在2点考えている。

1点目は、ふるさと納税の返礼品として使うこと。

2点目は、企業との連携だ。ある企業から井川町の米を購入したいとの話しがある。面積は多くないが、今後このような企業と連携しながら、中山間地産の米の販売に力を注いでいきたい。

問 集落やコミュニティ維持のため、以前より「清流米」、「源流米」の取り組みを提唱してきた。



中山間地「米」の活用は

問 国・県が発表したTPP大筋合意によると、農林水産物の生産減少額試算でコメはゼロである。価格下落すら一切ないというのは非現実的だ。

町長 生産者の意欲や価格下落はあると思う。先の定例会でも答弁したが、TPPよりも今の農政改革の方が影響が大きいと思う。

問 井川町総合戦略に、「中山間地で生産されるコメの販売促進を図ります」とある。個別具体的な記載になっている。何か確実な案があるので。

問 町では現在、子どもの医療費は中学生まで無料だ。今年の10月より、県の事業としてこれが行わると聞く。三種町のように、高校生まで拡大してはどうか。

町長 試算してないのでどのような影響があるかわからない。拡大するのが良いことなのか、子育て支援に本当に繋がるのか、別の施策はないのかなどを検討したい。

問 要事業の詳しい内容は。

町長 町には新しい土地や住宅がない。町営住宅は建設してから時間がたつた。リフォーム事業を計画する際、子育て世代が住みやすい間取りなどを考えながら進めたい。

子育て支援住宅は 町営住宅のリフォームで



子育て支援住宅のリフォームは

条例制定・改正

3月議会に上程された議案は、条例制定1件、改正8件で、各常任委員会に付託され、本会議では9件を原案どおり可決した。

全議案 全員一致可決

議案第6号

井川町職員の退職管理に関する条例の制定

退職した職員が當利企業に再就職した際、その企業及び子会社と契約行為をすることを規制するとともに再就職した際に届出の義務。

議案第9号

井川町定年前に退職する意思を有する職員の募集等に関する条例の一部を改正する条例

応募又は応募の取り下げ規定を改正。

議案第12号

職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

診療に従事する医師の特殊勤務手当
1箇月80万円以内

表彰

秋田県町村議會議長会表彰

石井茂議員
(議員在職11年以上)



2月18日県市町村会館で行われた平成27年度自治功労者表彰式で、多年議會議員として、地方自治の振興発展に寄与された功績により、本町議会から石井議員が表彰されました。

表彰

秋田県町村議會議長会表彰

半田銳議員
(議員在職23年以上)



2月18日県市町村会館で行われた平成27年度自治功労者表彰式で、永年議會議員として、議会制度の高揚と住民福祉の向上に尽力された功績により、本町議会から半田議員が表彰されました。

採択 全員一致

◎軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情

軽度外傷性脳損傷仲間の会
代表 藤本久美子

◎労働時間と解雇の規制強化を求める陳情
秋田県春闌共闘懇談会
代表委員 泉谷みどり

秋田県労働組合総連合
議長 星野博之

◎全国一律最低賃金制度の実現をはじめ、最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情

秋田県春闌共闘懇談会
代表委員 泉谷みどり

秋田県労働組合総連合
議長 星野博之

陳情

3月議会に上程された議案は、陳情4件が提出され、審査の結果陳情3件を採択、1件を継続審査とし、関係機関に意見書を提出した。

◎「平和安全保障関連法」の廃止を求める陳情書

継続審査 賛成多数

◎固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例

鳥獣被害対策実施隊員年額 4千円

行政不服審査法の改正に伴って井川町行政手続条例等の一部を改正する条例

行政不服審査法の改正に伴って井川町行政手続条例等の一部を改正する条例

学校等薬剤師 1万円→2万円

行政不服審査法の改正に伴つて改正する条例

行政不服審査法の改正

秋田・戦争をさせない1000人委員会
代表 山縣稔

ひとこと

私の

サロン集いに思う

海老沢町内 齊藤 良子

昨年10月より、我が町内にもサロンが開設致しました。まだ日も浅く、5ヶ月を経過しようとしております。半信半疑なところもありましたが、試行錯誤を繰り返しながら、確実な、実のあるものを実施して行く事が、皆さんが求めている現実なのだと思います。

毎週土曜日の午後から公民館に於て、お茶会、お話し会などを経て、お正月過ぎから「西馬音内盆踊り」のA3版の画作に励んでおります。いろんな工程を踏んで、クリアしながら、真剣に取り組んで一步、一步進むたび、実感しながら、今は色付けをしています。急がず、焦らず、ゆっくりをモットーに、3ヶ月を費やしております。出来栄えに夢を膨らませ、題材は同じでも、個性が出て自分達が「モデル」となり、思い思いに仕上がり、皆で見比べては笑い合い、楽しみながらやっています。絵の具、筆などを用いてやる為、学生時代に戻つて、新鮮な気持ちになつたとの事です。色彩感覚もそれそれ異なり素敵に仕上がるよう工夫されています。もうじき出来上がる予定です。

サロンが出来て、ここへ来るのが楽しみだと云われます。サロンを通して、増え絆が深まり、誠意を持つてお互い目をかけ合いながら、残りの人生を楽しみながら、支え合つて行けたらと思います。

サロンがこんなに皆さん的心の支えとなり始めている事で、開設して本当に良かったと痛感しています。共に過ごせる時間に感謝の心が湧き、嬉しそうな顔を見る時、少しでも切磋琢磨しながら自分達を磨きつつ、皆同じ方向に進み、志を忘れず、このサロンがいつまでも持続し、大きな輪となり、和みとなり、楽しさになつて人を幸福に出来たらと思つてます。これからも努力を重ね、邁進して参りたいと思います。

包括センターの方々には、今まで、これからもよろしくお願い申し上げます。

編集後記

は足を運んで頂きたい
と思います。

改選に伴い2月3日 初議会が開催され、議会だより委員会6人が配属されました。よろしくお願い致します。

井川町は一次産業の米作りが中心の町であり、TPPの影響が懸念されています。後継者問題も喫緊の課題です。議会でも当局から提示された井川町総合戦略を真摯に、かつ、豊かで安心な町の将来像を描きつつ議論する事が大事だと考えます。今後も、委員一丸となつて良い紙面作りに邁進しますので、よろしくお願い致します。



議会だより編集委員



議会のうごき

- 2月3日 第1回議会臨時会（役場議場）
- 2月12日 湖東厚生病院運営委員会（五城目町）
- 2月14日 いかわを拓く市民のつどい
(農村環境改善センター)
- 2月16日 秋田県町村電算システム共同事業組合定例会
(秋田県市町村会館)
- 2月17日 南秋田郡町村議会議長連絡協議会
(役場第1会議室)
- 2月18日 平成27年度自治功労者表彰式
(秋田県市町村会館)
- 2月18日 秋田県町村議会議長会理事会
(秋田県市町村会館)
- 2月24日 第1回議会運営委員会（役場正副議長室）
- 2月24日 第2回議会臨時会（役場議場）
- 2月24日 第1回議会全員協議会（役場議場）
- 2月26日 第2回議会運営委員会（役場正副議長室）
- 3月3日～11日 第1回井川町議会定例会
- 3月3日 議会だより編集委員会（以降4回）
- 3月11日 第2回議会全員協議会
- 3月17日 南秋田郡町村議会議長連絡協議会定期総会（井川町）
- 3月22日 井川町・潟上市共有財産管理組合議会（井川町）
- 3月23日 八郎湖周辺清掃事務組合議会（男鹿市）
- 3月23日 湖東地区行政一部事務組合議会（湖東消防）
- 3月24日 八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会（八郎潟町）
- 3月28日 第3回議会全員協議会